

村井真二業績

遷移金属分子触媒による
有機化合物の骨格形成法と修飾法の開拓

村井眞二 略歴

昭和13年8月24日生(70歳)

昭和36年 大阪大学工学部応用化学科卒業

昭和41年 大阪大学大学院工学研究科応用化学専攻博士後期課程修了

昭和41年 大阪大学工学部助手、昭和48年 同助教授、昭和62年 同教授

平成 9年 文部科学省特定領域研究「炭素共有結合形成の新機軸」の領域代表

平成11年 大阪大学工学部長(平成13年まで)

平成14年 大阪大学定年退官

平成13年 有機合成化学協会会長

平成14年- 科学技術振興機構(JST)

平成14年- JST 研究成果活用プラザ大阪 館長(平成21年まで)

平成14年- JST 研究開発戦略センター 上席フェロー・特任フェロー

平成14年- JST さきがけ研究21「合成と制御」領域 研究総括(平成20年まで)

平成17年 日本化学会会長

平成17年 環太平洋国際化学会議 国際組織委員長

平成17年— 奈良先端科学技術大学院大学 17—理事 21—理事・副学長

昭和60年 日本化学会学術賞

平成10年 日本化学会賞

平成17年 有機合成化学協会特別賞

平成18年 第47回藤原賞

遷移金属分子触媒による 有機化合物の骨格形成法と修飾法の開拓

研究業績概要

有機合成化学における新しい概念や現象を含む触媒反応を開発し、世界を牽引する卓越した成果を挙げてきた。特に、炭素－水素結合を利用した直截的合成反応は、革新的な分子変換反応であり、有機合成化学における新しい潮流が生み出された。これらの成果は有限資源の利活用や精密合成まで、物質創成に広く貢献する有機合成化学の無限の可能性を示したものである。

有機合成化学の流れを変えた重要な反応

